

子ども・子育て支援に関するアンケート調査

(小学校児童用)



調査ご協力のお願い

皆様には、日頃より市政にご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

羽曳野市では「子ども・子育て関連3法」に基づき、教育・保育・子育て支援をさらに充実させるために、2020年度から5年間を計画期間とした「はびきのこども夢プラン」を策定いたします。

このため、事業計画策定に向け、市民の皆様の子育ての状況や子育て支援、少子化対策に関するご要望・ご意見などを把握すべく、「子ども・子育て支援に関するアンケート調査」を行います。

この調査は、住民基本台帳の中から小学生のお子さん等無作為に1,300人抽出し、その保護者の方にご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、市や国・府の子ども・子育て支援施策の検討にのみ利用させていただき、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他にもれたり、他の目的に利用することは一切ございません。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成31年1月

羽曳野市長 **北川 嗣雄**

【ご記入にあたってのお願い】

1. アンケートには、お子さんの保護者の方がご記入ください。設問に「封筒のあて名のお子さんのことについて」とあればそのお子さんについて、何も記載がない場合は、ご家庭のすべてのお子さんについてお答えください。
2. ご記入が済みましたら、お手数ですが同封の返信用封筒に入れて2月3日(日)までにご投函ください。
3. 最後のページに用語集を用意しています。★印をつけた言葉は用語解説に記載していますので、ご参照ください。
4. ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合がございます。
5. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので注意書きに従ってください。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
6. 数字で時間（時刻）をご記入いただく場合は、**24時間制**（例：午後6時→18時）でご記入ください。
7. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きや矢印に従ってご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。
8. 本調査の結果は市のホームページ等を通して公表させていただきます。
9. ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

【お問い合わせ先】 羽曳野市 市長公室 こども未来室 こども課

TEL 072-958-1111（代）【内線：1234】

封筒のあて名のお子さんご家族の状況等についてお伺いします。

問1 現在、お住まいの地域の学校区名をお答えください。（〇は1つ）

- | | | | |
|-------------|----------------|-------------|--------------|
| 1. 古市小学校区 | 2. 駒ヶ谷小学校区 | 3. 古市南小学校区 | 4. 西浦小学校区 |
| 5. 羽曳が丘小学校区 | 6. 白鳥小学校区 | 7. 丹比小学校区 | 8. 埴生南小学校区 |
| 9. 高鷲小学校区 | 10. 高鷲北小学校区 | 11. 高鷲南小学校区 | 12. 恵我之荘小学校区 |
| 13. 西浦東小学校区 | 14. はびきの埴生学園校区 | | |

学校区が分からない場合は、町名を記入してください（ ）

問2 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。封筒のあて名のお子さんからみた関係でお答えください。（〇は1つ）

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他（ ） |
|-------|-------|-----------|

問3 封筒のあて名のお子さんの生年月をお答えください。（数字を記入）

西暦 [] 年 [] 月 生まれ

問4 封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いますか。また、2人以上いる場合、一番下のお子さんの年齢をご記入ください。（平成30年（2018年）4月1日現在の状況を記入）

[] 人 一番下のお子さんの年齢 [] 歳

問5 あなたが希望する子どもの数は何人ですか。（数字を記入）

[] 人

- ・希望するお子さんの人数が現在のお子さんの人数よりも多い方は問6へ
- ・それ以外の方は問7へ

問6 希望するお子さんの人数が現在のお子さんの人数より多い方にお伺いします。
現在の家庭・教育環境等においても、もう1人以上子どもを生み育てたいと思いますか。（〇は1つ）

- | | |
|-----------------|---------|
| 1. 生み育てたいと思う | → 問7へ |
| 2. 生み育てたいとは思わない | → 問6-1へ |

問6-1 問6で「2」を選ばれた方にお伺いします。 ←
主にどのような環境が整えば、もう1人以上子どもを生み育てたいと思いますか。（〇は1つ）

- | |
|---------------------------------|
| 1. 保育所など子どもを預かってくれる環境が整えば生み育てたい |
| 2. 経済的な環境が整えば生み育てたい |
| 3. 労働環境が整えば生み育てたい |
| 4. 教育環境が整えば生み育てたい |
| 5. 家庭環境（家族の理解等）が整えば生み育てたい |
| 6. その他（ ） |

問7 封筒のあて名のお子さんとの同居・近居（概ね30分以内に行き来できる範囲）の状況についてお答えください。続柄は封筒のあて名のお子さんからみた関係です。（〇はいくつでも）

- | | | | |
|---------|----------------|----------------|-----------|
| 1. 父母同居 | 2. 母同居（ひとり親家庭） | 3. 父同居（ひとり親家庭） | 4. 祖母同居 |
| 5. 祖父同居 | 6. 祖母近居 | 7. 祖父近居 | 8. その他（ ） |

問8 封筒のあて名のお子さんの子育てや教育を主にしている方はどなたですか。
続柄は封筒のあて名のお子さんからみた関係です。(○は1つ)

- | | | |
|----------|----------|---------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 |
| 4. 主に祖父母 | 5. その他 (|) |

ご家庭のすべてのお子さんの育ちをめぐる環境についてお伺いします。

問9 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。(○はいくつでも)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 日常的に祖父母等に預かってもらえる |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等に預かってもらえる |
| 3. 日常的に子どもを預かってもらえる友人・知人がいる |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預かってもらえる友人・知人がいる |
| 5. いずれもない |

問10 子育てや子どもの教育について、気軽に相談できる人や相談の場所がありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. いる／ある → 問10-1へ | 2. いない／ない → 問11へ |
|-------------------|------------------|

問10-1 問10で「1」を選ばれた方にお伺いします。

気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(○はいくつでも)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 配偶者 |
| 2. ご自身や配偶者の親、親せき、(同居している) 家族 |
| 3. 友人や知人 |
| 4. 近所の人 |
| 5. 小学校の先生 |
| 6. 放課後児童クラブ★の指導員 |
| 7. 児童館★などの子育て支援施設やNPOなどの子育て支援団体 |
| 8. ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾などの習い事の先生 |
| 9. 民生委員・児童委員、主任児童委員 |
| 10. かかりつけの医師 |
| 11. 行政機関(市役所・保健所・保健センター等) |
| 12. 携帯電話やインターネットの交流サイト |
| 13. コミュニティソーシャルワーカー★ |
| 14. その他 (|



封筒のあて名のお子さんの保護者の方の就労状況についてお伺いします。

※問 11、問 12 については、産休・育休・介護休暇中の方は、休業に入る前の状況をお答えください。

- 問 11** 封筒のあて名のお子さんの保護者の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、①現在の状況と②1年以内の希望（実現見込みがある）をお答えください。（母親、父親それぞれ○は1つ）
（ひとり親世帯の場合、母親もしくは父親の記入は不要です。）
※①現在の状況と②1年以内の希望で同様の就労状況が想定される場合は、同じ番号を選択してください。

		母親・父親の就労状況・就労希望			
		1. フルタイム 【週5日・ 1日8時間程度】	2. パート・ アルバイト 【月64時間以上】	3. パート・ アルバイト 【月64時間未満】	4. 専業主婦（夫） または就労し ていない
①現在の 状況 (それぞれ ○は1つ)	(1) 母親	1	2	3	4
	(2) 父親	1	2	3	4
②1年以内 の希望 (それぞれ ○は1つ)	(1) 母親	1	2	3	4
	(2) 父親	1	2	3	4

問 13 へ

問 12 へ

- 問 12** 問 11 の②で「4. 専業主婦（夫）または就労していない」を選ばれた方にお伺いします。
1年よりも先、将来的な就労希望はありますか。（それぞれ○は1つ）
※「2」を選ばれた場合は、[] に数字をご記入ください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 子育てや家事などに専念したい（就労希望なし）	1. 子育てや家事などに専念したい（就労希望なし）
2. 1年より先、一番下の子どもが [] 歳 になった頃に就労したい	2. 1年より先、一番下の子どもが [] 歳 になった頃に就労したい

- 問 13** 問 11 の②1年以内の希望で、「1」～「3」を選ばれた、働きたいと答えた方にお伺いします。
働きたい理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. 働かないと、暮らしていけなくなるため
2. 将来への備えのため（子どもの教育費、老後の備えなど）
3. 仕事を通じて、自分の能力を発揮し、向上させたいため
4. 人間関係を広げたいため
5. その他（ ）

問 14-4 問 14-3 の①放課後児童クラブの利用希望で、「3. 月に1～2回は利用したい」を選ばれた方にお伺いします。

毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 月に数回仕事が入るため
2. 平日にすませられない用事をまとめてすませるため
3. ご自身や配偶者の親、親せきの介護や手伝いが必要なため
4. リフレッシュのため
5. その他 ()

問 14-5 問 14 で「1」を選ばれた、現在放課後児童クラブを利用している方にお伺いします。

現在通っている放課後児童クラブにどのようなことを希望しますか。(○はいくつでも)

1. 朝の利用時間を延長する
2. 夕方の利用時間を延長する
3. 施設や設備を改善する
4. 指導内容を工夫する
5. 土曜日でも毎週開会する
6. その他 ()
7. 特になし

問 14-6 問 14 で「1」を選ばれた、現在放課後児童クラブを利用している方にお伺いします。

小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。(○はいくつでも)

※「1」を選ばれた場合は、[] に具体的な数字をご記入ください。

1. 放課後児童クラブを利用したい → 小学 [] 年生まで利用したい
2. 放課後子ども教室★を利用したい
3. スポーツクラブや学習塾などの習い事をさせたい
4. 子どもに自宅の留守番をしてもらう
5. その他 ()

→ 問 14-6 を回答した方は、問 15 へお進みください。

問 14-7 問 14 で「2」を選ばれた、現在放課後児童クラブを利用していない方にお伺いします。

放課後児童クラブを利用していない理由は何ですか。(○は1つ)

1. ご自身や配偶者が子どもをみているため、利用する必要がない
2. ご自身や配偶者の親、親せきがみているため、利用する必要がない
3. 近所の人や父母の友人・知人がみているため、利用する必要がない
4. 父母とも働いていて利用したいが、放課後児童クラブに空きがない
5. 父母とも働いていて利用したいが、延長・夜間などの時間帯の条件が合わない
6. 父母とも働いていて利用したいが、利用料がかかるため、経済的な理由で利用できない
7. 父母とも働いているが、子どもは放課後に習い事をしているため、利用する必要がない
8. 父母とも働いているが、放課後の短時間なら子どもだけでも大丈夫だと思うから
9. その他 ()

問 14-8

※利用にあたっては、一定の利用料が発生します。



※土曜日、日曜日・祝日の放課後児童クラブの開設時間は17時までです。

封筒のあて名のお子さんの一時預かりのことについてお伺いします。

問 15

(1) 対応の内容（〇はいくつでも）	(2) 日数（数字を記入）
1. ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった （同居している場合も含む）	年間 [] 日くらい
2. ファミリー・サポート・センター★を利用した	年間 [] 日くらい
3. 夜間看護事業：トワイライトステイ	年間 [] 日くらい
4. 家事育児代行サービスを利用した	年間 [] 日くらい
5. その他（ ）	年間 [] 日くらい
6. 預けるようなことはなかった	

問 15-1

※「1」を選択した方は「 」におおよその日数をご記入ください。

1. 利用したい → 月に [] 日くらい 2. 利用したいとは思わない

封筒のあて名のお子さんの宿泊を伴う一時預かりについてお伺いします。

問 17 この1年間に、保護者の用事などにより、封筒のあて名のお子さんを泊まりがけで預けなければなら
ないことはありましたか。(〇は1つ)

- | | |
|---------------------------|----------|
| 1. あった（預け先がみつからなかった場合を含む） | → 問17-1へ |
| 2. なかった | → 問18へ |

問 17-1 問 17 で「1」を選ばれた方にお伺いします。

この1年間の対処方法とそれぞれの泊数は概ね何日ですか。(〇はいくつでも。〔 〕におおよその日数を記入)

(1) 対応の内容（○はいくつでも）	(2) 日数（数字を記入）
1. 親族・知人に預けた（同居者を含む）	年間 [] 泊くらい
2. 子育て短期支援事業（ショートステイ）★を利用した	年間 [] 泊くらい
3. 2以外のサービス（家事育児代行サービスなど）を利用した	年間 [] 泊くらい
4. 仕方なく子どもも同行させた	年間 [] 泊くらい
5. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	年間 [] 泊くらい
6. その他（ ）	年間 [] 泊くらい

すべてのお子さんについて、子育て支援サービスの認知度・利用度をお伺いします。

問 18 下記のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後、利用したいと思いますか。サービスごとに、(1)～(3)のそれぞれについて、「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

サービス名	担当課	(1) 知っている	(2) これまでに 利用したこと がある	(3) 今後利用 したい
①家庭児童相談担当（市役所）の育児相談	こども課	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
②保健センターの育児相談や各種教室		はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
③子ども家庭センター（大阪府）の育児相談		はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
④青少年児童センター		はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑤教育研究所の教育相談	学校教育課	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑥市が発行する子育て便利MAP	こども課	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑦病児・病後児保育事業	こども課	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑧ファミリー・サポート・センター	こども課	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑨子育て支援センター・つどいの広場★	こども課	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑩小児夜間急病診療★	保健センター	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑪はびきの子育てネット★	こども課	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑫はびきの中学生 study-O★	政策推進課	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑬ダルビッシュ有「子ども福祉基金」★	こども課	はい・いいえ	—	—

問 18-1 問 18 の子育て支援サービスの情報は、入手しやすいと感じますか。（○は1つ）

1. 入手しやすい

2. 入手しにくい

3. どちらともいえない

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてお伺いします。

国においては、少子化への取組として、働き方の改革による「仕事と生活の調和」の実現と、多様な働き方に対応した保育サービス等の子育てを支える社会的基盤の整備を「車の両輪」として進めていくこととしています。

※「仕事と生活の調和」（あなた自身が仕事と仕事以外の生活のバランスは取れていると思うか、また、仕事を持たない方は、家事・育児・介護などと、それら以外の生活（趣味や友人との付き合いなど）のバランスがとれているか）についてお考えください。

問 19 封筒のあて名のお子さんと、1日当たりどのくらい一緒に過ごしていますか。1週間の平均的な時間をお答えください。また、その時間は十分だと思いますか。（①は週の平均時間を記入。②はそれぞれ○は1つ）
（ひとり親世帯の場合、母親もしくは父親の記入は不要です。）

		(1) 母親		(2) 父親	
		平日	休日	平日	休日
①子どもと一緒に過ごす時間 (数字を記入)		1日当たり [] 時間	1日当たり [] 時間	1日当たり [] 時間	1日当たり [] 時間
②満足度	1. 十分だと思う	1	1	1	1
	2. まあまあ十分だと思う	2	2	2	2
	3. あまり十分だと思わない	3	3	3	3
	4. 不十分だと思う	4	4	4	4

問 20 1日当たり何時間くらい家事をしますか。（おおよその時間を記入）

(1) 母 親 (数字を記入)	(2) 父 親 (数字を記入)
1日当たり [] 時間	1日当たり [] 時間

問 21 あなたの家庭の生活の中で、「仕事時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度についてお答えください。（それぞれに○は1つ）

(1) 現実 (○は1つ)	(2) 希望 (○は1つ)
1. 仕事時間を優先	1. 仕事時間を優先
2. 家事（育児）時間を優先	2. 家事（育児）時間を優先
3. プライベート時間を優先	3. プライベート時間を優先
4. その他（ ）	4. その他（ ）

問 22 あなたにとって、仕事と子育てを両立させる上での課題と思うことは何ですか。（〇はいくつでも）

1. 残業や出張が入ること
2. 子どもや自分が病気やケガをしたときに代わりに子どもの面倒をみる人がいないこと
3. 配偶者の協力が得られないこと
4. 家族や親族の理解が得られないこと
5. 職場に子育てを支援する制度がないこと（育児休業、子どもの看護休暇、短時間勤務等）
6. 職場の理解や協力が得られないこと
7. 子どものほかに面倒をみなければならない人がいること
8. 子どもの面倒をみてくれる放課後児童クラブ等が見つからないこと
9. 子どもと接する時間が少ないこと
10. その他（ ）

問 23 あなたの家庭では、仕事と生活の調和が図られていると感じますか。（〇は1つ）

- | | |
|------------|------------|
| 1. 感じる | 2. まあまあ感じる |
| 3. あまり感じない | 4. 感じない |
| 5. わからない | |

ご家庭のすべてのお子さんについて、行政サービスへの要望をお伺いします。

問 24 行政（羽曳野市、府、国）に対して、子育てサービスの現状やあなたの子育て経験などから、どのような支援策の充実を図って欲しいですか。（〇はいくつでも）

1. 親子が安心して集まれる公園等の屋外の施設を整備する
2. 親子が安心して集まれる保育所や幼稚園の園庭開放を充実する
3. 親子が安心して集まれる集いの場等の屋内の施設を整備する
4. 子ども連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくりや、歩道等の段差解消等の「子育てのバリアフリー化」に取り組む
5. 子育てに困ったときの相談体制を充実する
6. 子育て支援に関する情報提供を充実する
7. 子育て中の親の仲間づくりや、子育ての知識や技能の取得に役立つ親子教室の開催回数の増加と内容の充実を図る
8. 子育てサークル活動への支援を充実する
9. 保育所や放課後児童クラブ等の働きながら子どもを預けることができる施設を増やす
10. 幼稚園の保育サービス（早朝、夕方の預かり保育★の延長や夏休み等の預かり保育など）を充実する
11. 誰でも気軽に利用できるNPOや民営等による教育・保育サービスの支援を行う
12. 安心して子どもが医療機関（小児救急など）を利用できる体制を整備する
13. 子どもの安全を確保する対策を充実する
14. 子育ての講座など子育てについて学べたり、親力アップのための機会をつくる
15. 子育て世帯への経済的援助の拡充（育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充等）
16. 公営住宅の優先入居等、住宅面での配慮や支援に取り組む
17. その他（ ）
18. 特になし

封筒のあて名のお子さんの生活習慣についてお伺いします。

問 25 お子さんの生活習慣についてお答えください。（それぞれ〇は1つ）

（1）朝ごはんを食べますか。

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 毎日食べる | 2. 食べる日のほうが多い |
| 3. 食べない日のほうが多い | 4. ほとんど食べない |

（2）1日1回は家族と一緒に食事をしますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. する | 2. しない |
|-------|--------|

（3）平日のテレビ・ビデオ・ゲーム等の1日当たり平均視聴時間は何時間ですか。

- | | | |
|-----------|-----------|----------------|
| 1. 30 分以内 | 2. 1 時間以内 | 3. 1 時間 30 分以内 |
| 4. 2 時間以内 | 5. 2 時間以上 | |

（4）就寝時刻は何時ですか。

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 1. 20 時半より前 | 2. 20 時半～21 時 | 3. 21 時～21 時半 |
| 4. 21 時半～22 時 | 5. 22 時～23 時 | 6. 23 時以降 |

子どもが心身ともに健やかに成長するための取組についてお伺いします。

問 26 封筒のあて名のお子さんの平日および休日の日常なお子さんの過ごし方で、一番多いものについて、時間帯の（1）～（5）の項目に下記の【選択肢】から、それぞれあてはまる答えの番号を1つずつ選んでご記入ください。

時間帯	(1) 平日 14～16 時	(2) 平日 16～18 時	(3) 平日 18～20 時	(4) 平日 20 時以降	(5) 休 日
過ごし方					

※もっとも多いものをご記入ください。

【選択肢】

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| 1. 授業などで学校にいる | 2. 放課後児童クラブで過ごす |
| 3. 放課後子ども教室に参加する | 4. 保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす |
| 5. 家事育児代行サービスなどのサービスを利用する | 6. 家や公園などで友だちと過ごす |
| 7. 児童館など公共の施設にいる | 8. スポーツクラブなどの活動に参加する |
| 9. こども会などの地域活動に参加する | 10. 学習塾や習い事へ行く |
| 11. 家で、ひとりで勉強などをする | 12. その他（ ） |

問 27 ご家庭のすべてのお子さんについて、お住まいの地域が、自然に囲まれている、文化施設が充実しているなど、子どもにとって自然、社会、文化などの体験をしやすい環境であると考えますか。（〇は1つ）

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 体験をしやすい環境だと思う | 2. 体験をしやすい環境だとは思わない |
| 3. どちらでもない | 4. わからない |

問 28 封筒のあて名のお子さんが参加したことがある地域における自然体験、社会参加、文化活動はどれですか。（〇はいくつでも）

1. スポーツ活動
2. 文化芸術活動
3. ボランティア活動
4. 体験学習活動（ものづくり体験等）
5. 野外活動（キャンプ等）
6. 社会福祉活動（高齢者訪問等）
7. 国際交流活動（ホームステイ等）
8. 青少年団体活動（こども会等）
9. 環境分野での社会貢献活動（リサイクル活動等）
10. 環境教育活動（自然観察等）
11. 地域に根ざした活動（お祭りや地域運動会等）
12. その他（ ）
13. 参加したことがない

問28-2へ

→ 問28-1へ

問 28-1 問 28 で「13」を選ばれた方にお伺いします。

封筒のあて名のお子さんがこれまで参加していない理由は何ですか。（〇はいくつでも）

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 活動に関する情報がなく参加しにくい | 2. 知り合いなどがおらず参加しにくい |
| 3. 初めての者が参加しにくい雰囲気がある | 4. 参加の時間帯が合わない |
| 5. 費用がかかる | 6. 活動の内容に興味や関心がない |
| 7. その他（ ） | |

問 28-2 問 28 で「1」～「12」を選ばれた方にお伺いします。

封筒のあて名のお子さんが参加したことはないが、今後参加させたいと思っている地域における自然体験、社会参加、文化活動は何ですか。（〇はいくつでも）

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| 1. スポーツ活動 | 2. 文化芸術活動 |
| 3. ボランティア活動 | 4. 体験学習活動（ものづくり体験等） |
| 5. 野外活動（キャンプ等） | 6. 社会福祉活動（高齢者訪問等） |
| 7. 国際交流活動（ホームステイ等） | 8. 青少年団体活動（こども会等） |
| 9. 環境分野での社会貢献活動（リサイクル活動等） | 10. 環境教育活動（自然観察等） |
| 11. 地域に根ざした活動（お祭りや地域運動会等） | 12. その他（ ） |

封筒のあて名のお子さんの携帯電話・スマートフォン・タブレット等についてお伺いします。

問 29 お子さんは携帯電話・スマートフォン・タブレット等は持っていますか。（〇は1つ）

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 持っている → 問29-1へ | 2. 持っていない → 問30へ |
|-------------------|------------------|

問 29-1 問 29 で「1」を選ばれた方にお伺いします。

お子さんに携帯電話・スマートフォン・タブレット等を持たせた理由は何ですか。（〇は1つ）

- | | |
|----------------------|----------------|
| 1. 保護者と連絡をとる方法が必要だから | 2. 友だちが持っているから |
| 3. なんとなく | 4. その他（ ） |

問 29-2 問 29 で「1」を選ばれた、お子さんが携帯電話等をお持ちの方にお伺いします。
携帯電話・スマートフォン・タブレット等を持つ際に、家族と約束事を決めましたか。（〇は1つ）

- | | | |
|--------|------------|-----------|
| 1. 決めた | → 問 29-3 へ | 2. 決めていない |
|--------|------------|-----------|

問 29-3 問 29-2 で「1」を選ばれた方にお伺いします。
お子さんはその約束を守れていると思いますか。（〇は1つ）

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 守れている | 2. まあまあ守れている |
| 3. あまり守れていない | 4. 守れていない |

ご家庭のすべてのお子さんについて、子育てを支援する生活環境の整備についてお伺いします。

問 30 お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。（〇は1つ）

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 満足している | 2. 満足していない |
| 3. どちらとも思わない | 4. わからない |

問 31 お住まいの地域の子どもの遊び場について日頃感じることは何ですか。（〇はいくつでも）

- | | |
|---------------------------------------|---------------------------|
| 1. 近くに遊び場がない | 2. 雨の日に遊べる場所がない |
| 3. 思い切り遊ぶために十分な広さがない | 4. 遊具などの種類が充実していない |
| 5. 不衛生である | 6. いつも閑散としていて寂しい感じがする |
| 7. 遊具などの設備が古くて危険である | 8. 緑や水辺など子どもが自然にふれあう場が少ない |
| 9. 遊び場やその周辺の環境が悪くて安心して遊べない | |
| 10. 公園など遊び場のトイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていない | |
| 11. 遊び場周辺の道路が危険である | |
| 12. 遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がいない | |
| 13. その他（ | ） |
| 14. 特に感じることはない | |

子育て全般についてお伺いします。

問 32 あなたは、近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人はいますか。（〇は1つ）

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問 33 あなたは、自分にとって子育てを楽しんでいると感じることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。（〇は1つ）

- | | |
|------------------------------|--------------|
| 1. 楽しいと感じることの方が多い | } → 問 33-1 へ |
| 2. 楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい | |
| 3. つらいと感じることの方が多い | |
| 4. わからない | } → 問 34 へ |
| 5. その他（ | |

問 33-1 問 33 で「1」～「3」を選ばれた方にお伺いします。

子育てをする中で、あなたはどのような支援・対策が有効と感じていますか。（〇は3つまで）

1. 地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など）
2. 保育サービスの充実
3. 子育て支援のネットワークづくり
4. 地域における子どもの活動拠点の充実（児童館など）
5. 訪問型の支援サービスの充実
6. 健やかな妊娠・出産に関する支援
7. 子どもの教育環境
8. 子育てしやすい住居・まちの環境面での充実
9. 仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備
10. 子どもを対象にした犯罪・事故の軽減
11. 援護を要する子どもに対する支援
12. その他（ ）

問 34 お住まいの地域で、子どもが巻き込まれる事故や犯罪が増加していると感じますか。（○は1つ）

- | | |
|------------|----------|
| 1. 感じる | 2. 感じない |
| 3. どちらでもない | 4. わからない |

問35 あなたが、子育てに関して日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。

(1) 子どもに関すること (〇はいくつでも)

1. 病気や発育発達に関すること
2. 食事や栄養に関すること
3. 子どもとの接し方に自信が持てないこと
4. 子どもと過ごす時間が十分取れないこと
5. 子どものしつけ・教育に関すること
6. 子どもの友だちづきあいに関すること
7. 子どもの不登校など
8. その他（ ）
9. 特にない

(2) あなたに関すること (〇はいくつでも)

1. 子育てに関して配偶者の協力が少ないこと
2. 配偶者と子育てに関して意見が合わないこと
3. 子育てが大変なことを親族、近隣の人、職場など周りの人が理解してくれないこと
4. 自分の子育てについて親族、近隣の人、職場など周りのみる目が気になること
5. 子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと
6. 仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと
7. 配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
8. 子育てのストレス等から子どもにきつくあたってしまうこと
9. 子育てによる身体の疲れが大きいこと
10. 子育てにかかる出費がかさむこと
11. 住居が狭いこと
12. その他（ ）
13. 特になし

ここまでご記入ありがとうございます。
 次のページで最後です。
 引き続きご協力をお願いします。



問 36 あなたは、ご自身の子育てが地域の人に支えられていると感じますか（○は1つ）。
「1. 感じる」場合は、特に誰から支えられていると感じますか。「2. 感じない」場合は、特に誰から支えて欲しいと感じますか。下記の【選択肢】からあてはまるものをすべて選び、その番号を記入してください。

- | | | |
|---------|--------|---|
| 1. 感じる | 番号を選択（ | ） |
| 2. 感じない | 番号を選択（ | ） |

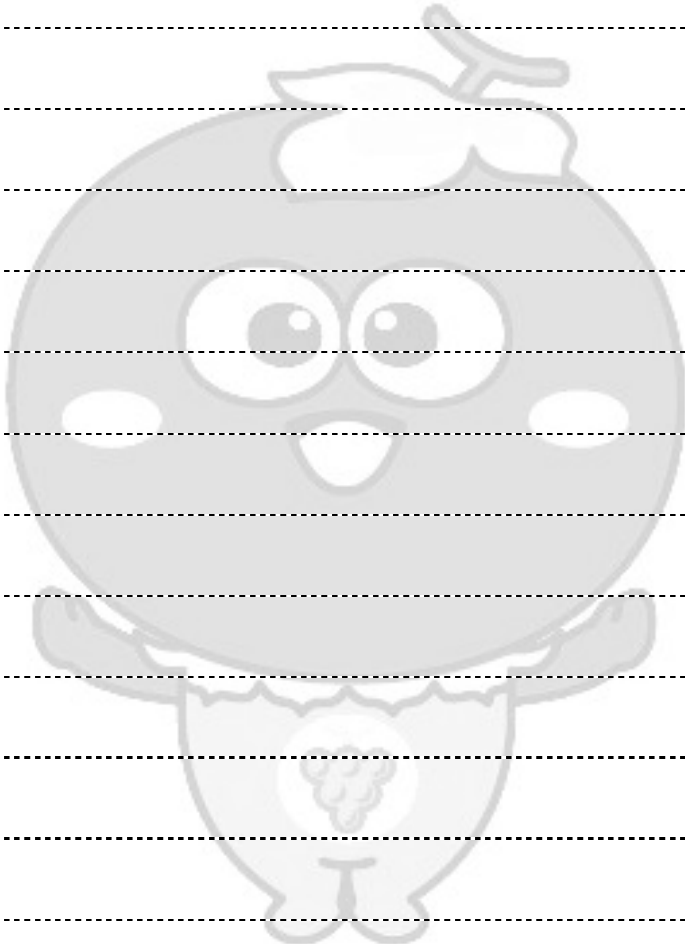


※番号の選択はいくつでも

【選択肢】

- | | |
|--------------------------------|----------------------|
| 1. 近所の人 | 2. 同じ世代の子どもを持つ保護者 |
| 3. 民生委員・児童委員や自治会、こども会などの地域団体の人 | 4. 地域活動を行っているNPOなどの人 |
| 5. 市役所の職員 | 6. その他（ |

羽曳野市の子育て支援に希望することや、子育てで困っていることなどがありましたら、自由にご記入ください。



ご協力ありがとうございました。この調査票は、2月3日（日）までに、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにポストに投函してください。
 皆さんから頂いたご意見は計画にしっかりと反映させていただきます。

用語解説（五十音順）

預かり保育	保護者の仕事・病気のために家庭での保育が困難になった時に、幼稚園の就園時間終了後も子どもを一定時間幼稚園で預かる、保育サービスです。
子育て短期支援事業 (ショートステイ)	児童を養育している家庭の保護者が、疾病や出産・育児疲れや経済的問題等で養育が一時的に困難になった場合に、児童福祉施設において一定期間、養育および保護することにより家庭の子育てを支援するサービスです。 羽曳野市内では、高鷲学園・羽曳野荘・太子乃園・南河学園で実施されている事業です。
コミュニティソーシャル ワーカー	制度の狭間や複数の福祉課題をかかえる人や困りごとに対して、地域における見守り・発見・各種サービスへのつなぎの役割を担う人のことです。
児童館	遊びを通して、子どもの生活の安定と、子どもの能力の発達を援助していく施設です。
小児夜間急病診療	市立休日急病診療所で実施している、小児科の土曜・休日の夜間診療（午後6時から午後10時）です。
地域子育て支援センター	子育ての経験豊かな育児技術を持った専門の職員が、子育ての関係機関と連携しながら相談・支援・情報提供・子育てサークルの育成などさまざまな活動を行っています。ふるいち・むかいの・悲田院があります。
つどいの広場 (地域子育て支援拠点事業)	親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、つどいの広場は、あいあい保育園・手をつなぐ子育て・カンナの3か所があります。
ダルビッシュ有 「子ども福祉基金」	プロ野球のダルビッシュ有選手や、一般の方からの寄付金をもとに、ダルビッシュ有文庫の開設など、子どもの福祉のために設立した市の基金です。
はびきの子育てネット	羽曳野市が運営する、保育情報や子育て支援センターの事業紹介や保健センターの健診に関するお知らせなど、子育てに関するさまざまな情報を総合的に受発信しているサイトです。
はびきの中学生 study-O	羽曳野市役所で働く職員や地域の先輩が、中学生の自学自習をサポートし、学力向上をめざす事業です。
病後児保育	子どもが感染性の病気回復期やかぜ、腹痛などの軽い病気の「回復期」の状態にあるために保育園や幼稚園へ登園できず、さらに仕事や病気のために、家庭で看護することができないとき、市が補助をする団体でお子さんを預かり保育することです。
病児保育	子どもが感染性の病気回復期やかぜ、腹痛などの軽い病気にかかり、保育園や幼稚園へ登園できず、さらに仕事や病気のために、家庭で看護することができないとき、お子さんを預かり保育することです。市内にはありません。
ファミリー・サポート・センター	子育ての手助けをしたい人（協力会員）と手助けがほしい人（利用会員）を会員として組織化し、地域ぐるみで子育てを支援する活動をしています。子育て支援センターふるいちに事務局があります。
放課後子ども教室	すべての子どもを対象として、安心・安全な子どもの居場所を提供し、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の取組をするものです。
放課後児童クラブ(学童保育)	共働きなどで保護者が昼間、家庭にいない小学生を預かり、放課後、児童館や学校の空き教室などを利用し、遊びの場や生活の場を提供します。

